

街歩きマップサポートBOOK

# Tohode

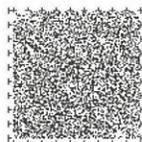
せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。

カメラを持って  
散歩しよう!

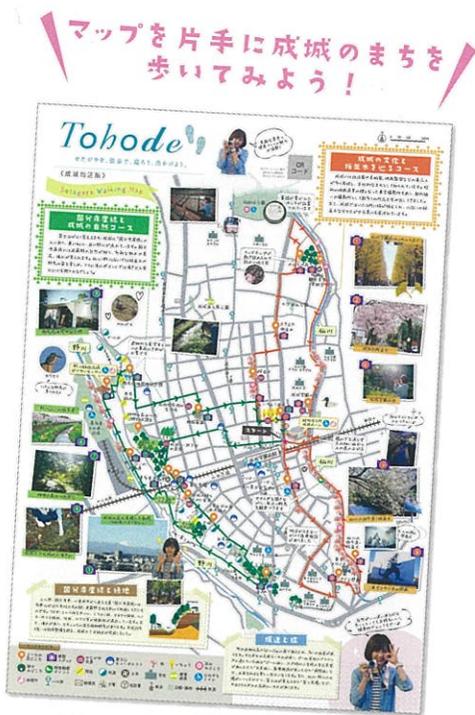
素敵な景色と  
健康づくりの  
魅力が満載!

健康 **せたがや** プラス1 

今日からあなたも「こころと身体を HAPPY にするプラス1」生活を始めませんか？



※音声コード。  
専用の装置で聴くことができます。



《マップの使い方》

成城のまちを歩きながら、小さな発見をレンズに捉える。それがこのマップの目的です。マークも「せたがや百景」や野鳥やさくら、蛍などのポイントを表示。カメラマークがあるところはシャッターポイントです。コースは無理なく歩ける「成城の文化と桜並木を巡るコース」「国分寺崖線と成城の自然コース」の2コース。また、それぞれのハーフコースもおすすめています。歩数の目安もあるので、歩数計がなくてもOK。さあ、カメラ片手に歩きましょう！  
このマップは、地域の人の情報をもとに作りました。坂道や公園の名前には、まちでの通称名もあります。



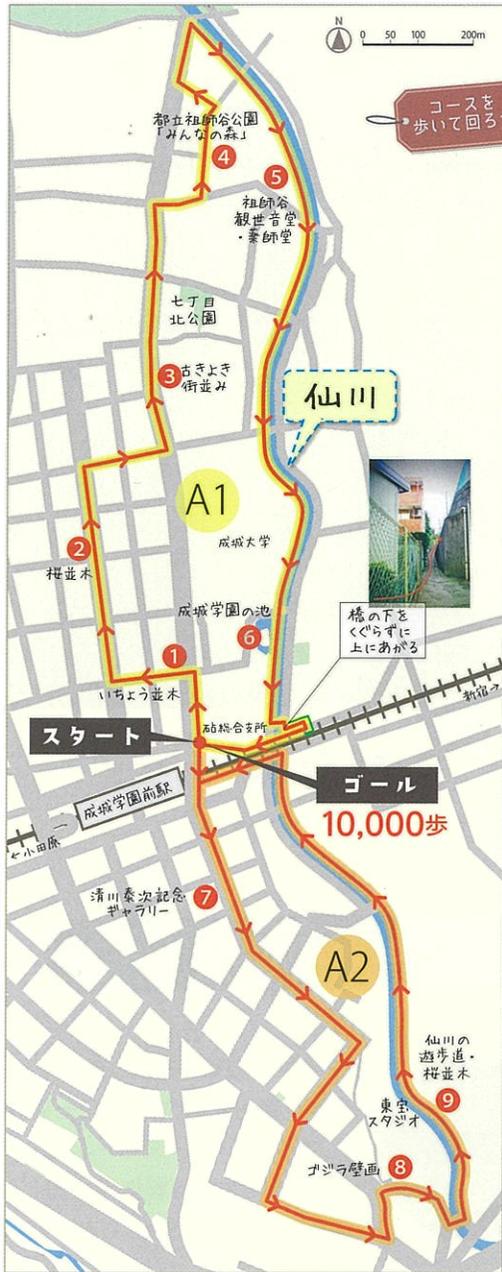
木漏れ日の中で見つける 私だけのアングル

成城の文化と桜並木を巡るコース



# 成城の文化と桜並木を巡るコース

C u l t u r e & S a k u r a



成城には政治家や美術家、映画監督などの著名人が多く居住し、文化的なまちとして知られています。昭和の映画産業の礎となった東宝撮影所もあり、都内随一の撮影所として数多くの作品を生み出してきました。また、成城ではいたる所に桜が植えられ、川沿いの桜並木などせたがや百景にも選ばれています。

## コースの見どころ

- ① 成城学園前のいちよう並木
- ② 成城の桜並木
- ③ 古きよき街並み
- ④ 「みんなの森」
- ⑤ 祖師谷観世音堂・薬師堂
- ⑥ 成城学園の池
- ⑦ 世田谷美術館分館  
清川泰次記念ギャラリー
- ⑧ 東宝スタジオの壁画
- ⑨ 仙川の遊歩道・桜並木

砧総合支所を起点にA1、A2を回る  
ハーフコースもおすすめ。



仙川の遊歩道・桜並木

★歩数は一般的な目安です、交通量や、個人の歩幅で増減いたします。  
予めご了承ください



## 1 成城学園前のいちよう並木

成城大学の正門から東西に伸びる通りには、季節によってさまざまな色合いを見せるイチヨウの並木が約120mにわたって植えられています。大正14年(1925)に成城学園がこの地に引っ越ししてきたのち、学生たちがイチヨウの木を植えていきました。今でもまちのシンボルとして大切にされています。

100 せたがや百景

## 2 成城の桜並木

いちよう並木から北へ向かうと桜並木が続きます。成城学園によるまちづくりが始まった当時、田園調布などの住宅地にならって桜が植えられました。約600mの桜並木は、区民が選んだ「せたがや百景」にも選定されています。4月には「さくらフェスティバル」も開催され、賑わいを見せてくれます。



100 せたがや百景

## 3 古きよき街並み

成城学園の移転によって宅地開発が進められた成城の街並みは、生垣や大谷石塀など、住環境に配慮した取り決めが行われました。道路が交わる角が広く取られ、交通の安全を図る「隅切り」もその例です。車社会になる前から、こうした配慮がされたことから、いかに細やかな街づくりが進められたかが分かります。





緑の  
みどころ

4

「みんなの森」

住民ボランティアが整備した「みんなの森」は、住宅街の中でも憩いの場。地面には杉やヒノキ、クスノキなどの木材を細かく砕いたウッドチップが敷き詰められ、足の間でも森を楽しめる仕掛けに。秋は木の実と落葉の絨毯が広がります。天気の良い日は木漏れ日を使って、柔らかな質感の写真が撮れます。



寄り道

5

祖師谷観世音堂



祖師谷観世音堂は1654年、祖師谷村の人々の手によって建立されたといわれています。境内の観世音堂には十一面観音と不動明王を安置。観世音菩薩は古来より子どもたちの安全を助け見守る「子育て観音」だと伝えられています。静謐で清らかな雰囲気ですが、強い意志が感じられる一枚が撮れるかもしれません。



祖師谷薬師堂

祖師谷観世音堂の傍らの薬師堂には、薬師如来像が安置されています。現在の薬師如来は約半世紀前に、住民の募金活動でよみがえらせたもの。脇侍と十二神将立像は江戸時代中期の作と云われています。薬師如来は心と身体の病を治し、特に「眼病」にご利益があるそうです。



6

成城学園の池

「せたがや百景」にも選ばれている成城学園大学構内の広い池。今では学生たちの憩いの場です。池の真ん中に島があり、その形から学生たちは「ドーナツ池」と呼んでいます。

100 せたがや  
百景



7

【世田谷美術館分館】  
清川泰次記念ギャラリー

画家の清川泰次氏の住居兼アトリエを改装して開館。自らの財産を芸術・文化の振興に役立てることを望んだ遺志に基づき、ご遺族が多数の作品と土地・建物を世田谷区に寄贈されました。氏の作品を展示するほか、区民の皆様の文化活動の発表の場となっています。



ちよつと  
立ち寄り



ミュージアムショップでは、清川泰次氏自らがデザイン、あるいは氏の作品をモチーフにしたものが購入できます。ハガキ、ハンカチ、ミニスカートからグラスやカフスポタン・タイピンセット、ペンダントまで、お好みのミュージアムグッズを見つけてみませんか？

住所 東京都世田谷区成城2-22-17 ☎ 03-3416-1202  
料金 大人200円/高・大学生150円/小・中・65歳以上100円  
時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休月曜日(ただし祝・休日と重なった場合開館、翌平日休館)、12/29~1/3、展示替 無

8

東宝スタジオの壁画

突然、目の前に現れる巨大なゴジラの壁画。実はここが「東宝スタジオ」です。撮影スタジオとしては日本一の広さを誇り、最高峰の施設を備える映像制作拠点です。まちと共に発展してきた「東宝スタジオ」は「七人の侍」をはじめ、日本映画を代表する名作を生み出してきました。



ちょっと立ち寄り



メインゲートへまわると、そこにもゴジラが！こちらはブロンズ像ですが、やはり迫力満点。その脇には名作「七人の侍」の巨大壁画があります。



※敷地内への立ち入りは禁止 写真を撮影する際は敷地に立ち入らず、車の往来にご注意ください。



野鳥観察ポイント

9

仙川の遊歩道・桜並木



川沿いには、懐かしいわらべ歌と可愛いイラストが描かれているイスが所々にあり、川を眺めながら小休憩するのに最適です。列になって可愛く泳ぐカルガモなどの鳥たちの姿が見られ、バードウォッチングも同時に楽しめます。また、春には沿道の桜並木が見ごろを迎え、夜には期間限定のライトアップも行われます。

ファインダーを覗いて  
新しい発見を一枚に

国分寺崖線と成城の自然コース







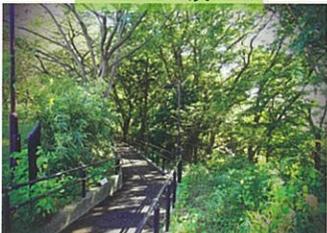
4

### 成城三丁目緑地

坂を下ったこのエリアは、まるで避暑地の雰囲気。真夏でも木々が作る陰で涼やかさを感じられます。国分寺崖線の樹林を緑地として保全し、多種多様な植栽林が混在しています。緑地内は傾斜面になっており、散策するには、丸太の階段を上ったり下ったり…。まさにまちの里山といった風情です。

緑の  
みどころ  
野鳥観察  
ポイント

### へび坂



### 湧き水

緑地の中にも坂道があり、「へび坂」の名前がついています。また、澄んだ湧水も流れ、セキショウの湿生植物群落があります。サワガニやカブトムシなど、多くの生き物を観察しながら、写真に収めてみましょう。



5

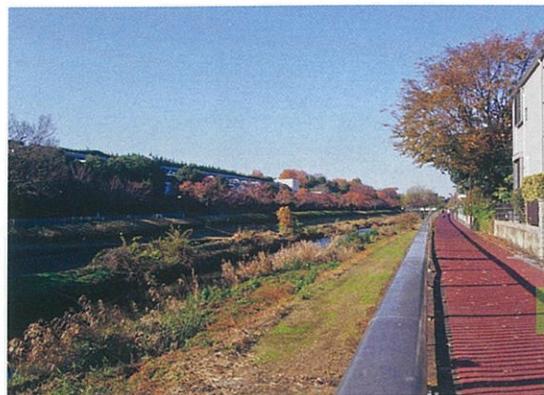
### 喜多見不動堂



明治時代からこの地を守る喜多見不動堂。入り口には滝があり、かつては行者が水行をしたそうです。それだけに神聖な空気が漂います。階段の上には立派な堂があり、その脇の奥には何やら横穴が掘られています。実は祠を祀った横穴で、ここにも信仰の姿が感じられます。



寄り道



野鳥観察  
ポイント



6

### 野川沿いの遊歩道

野川は両岸に遊歩道が敷かれ、西岸は「野川緑道」、東岸は国分寺崖線の遊歩道となっています。春には国分寺崖線側から対岸の緑道の桜並木を眺めることができ、穏やかな一日を過ごせます。

7

### 神明の森みつ池周辺

野川沿いを歩きながら、つい見過ごしてしまいそうな細い道が入っていくと小川があり、よくよく目を凝らして水面を見るとホタルの餌になるカワニナがいます。この先にある特別保護区\*は23区内でわずか2箇所しかない源氏ホタルが自生している貴重な場所です。\*特別保護区の開放は、年に数回のみ



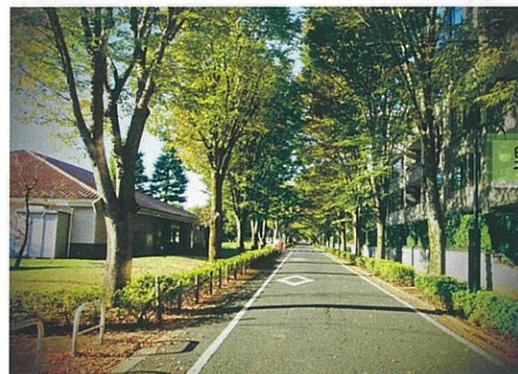
緑の  
みどころ

8

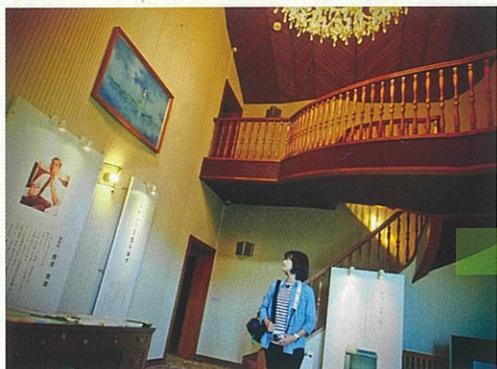
### 野川緑地広場(ビクターセンター\*周辺)

野川沿いに整備された遊歩道の成城学園側、ここに「野川緑地広場」があります。園内には散策路やピオトープなど自然と親しめる施設のほか、地元の財団法人が街づくりの情報発信とボランティア活動の拠点として運営する「ビクターセンター」があります。ここでちょっと休憩を兼ねて、手作りのお菓子を。

\* (財) 世田谷トラストまちづくりビクターセンター



ちょっと立ち寄り



### 9 榎尾俊雄発明記念館

カシオ計算機株式会社の創業家の一であり、発明家だった榎尾俊雄氏の旧宅を予約公開。発明に関する様々な資料や、歴史にその名を刻んだカシオ計算機の代表作など、5つのテーマに沿った展示の数々を見ることができます。発明に対する強い信念が伝わってきます。

〒東京都世田谷区成城4-19-10  
 ☎完全予約制(1予約あたり上限10名様を目安に受付)  
 開9:30~17:00 🌐ホームページにて確認  
 🎫無料 📵無 E-mail: info@kashiotoshio.org



緑の  
みどころ

10

### 猪股庭園



旧猪股邸は労務行政研究所の理事長を務めた故・猪股猛氏の邸宅として建てられたものです。主屋は、文化勲章を受章した建築家・吉田五十八氏の設計によるもので、数寄屋造りの伝統的和風建築。庭園は多くの樹木を配した回遊式の日本庭園です。庭園を見ながらカメラアングルを探すのも楽しいでしょう。

ちょっと立ち寄り



〒世田谷区成城5-12-19  
 ☎03-6407-3311  
 🎫入場無料  
 開9:30~16:30  
 🗓月曜日(但し、月曜が祝日の場合は次の平日)、12/29~1/3  
 🎫無

## せたがや百景とは？

### 成城の成り立ち

富士山を望む閑静な高台に位置し、日本の学園都市の先駆けとして知られるのが今回、ご紹介した成城地区です。大正6年に創設の「成城学園」が、同12年の関東大震災をきっかけにして、新宿区から大正14年(1925年)に現在の地へ移転。当時の学園の関係者が理想の街を描いて開発しました。このウォーキングコースは、その先進的な街づくりの工夫を随所に目にすることが出来ます。マップを片手に、その空気と景観をぜひ楽しんでください！



「せたがや百景」とは、昭和59年に世田谷区民が投票で選んだ「残し守りたい風景、景観」百か所です。せたがや百景の場所には看板や切り絵の埋め込みプレートが設置されています。また、昭和初期に転居してきた植村泰二は成城の地を気に入り、写真科学研究所を創設。それが東宝スタジオの前身であり、以後多くの文化人芸能人が住むようになりました。文化の香りのするまちの由縁です。

## 自然がいっぱい！

### ヒマラヤ杉

大正初期、洋風の家には3本のヒマラヤ杉、和風の家には3本の松を植えることになっていました。今でもまちのあちこちに残っているヒマラヤ杉を見つけることができます。個人のお宅に保存樹木として登録されているものも多いです。



椿



クワの実



どんぐり



アゲハチョウ



モンシロチョウ



ナナホシテントウムシ

### 野鳥

国分寺崖線の森にはフクロウなどの猛禽類、アオゲラ、アカゲラなど林の鳥が生息し、野川沿いではダイサギ、カワセミ、カモなどの水辺の鳥が数多く見られます。



オナガカモ



コサギ



オナガカモ



カワセミ



ツグミ



ダイサギ

# Tohode

せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。

Setagaya Walking BOOK



何気なく歩いていると、見落としてしまいがちなところに、成城の美しい街並みの秘密が隠れています。「仙川コース」では自然と文化が融合し、地元の人に愛されて作られてきたまちなんだなって、実感しました。「野川コース」は本当に緑が多く、それが街とうまく調和して、歩いていると本当に心地よかったです。特に閑静な住宅街の3丁目〜5丁目から、ほんの5分〜10分歩いた場所に湧水地があり、ホタルやカワセミが生息しているというのは、すごい事だと感じました。その感動を一枚一枚の写真に収めました。

編集・発行 平成29年2月

成城地区健康マップ編集委員会  
世田谷区砧総合支所健康づくり課  
電話：03-3483-3161  
FAX：03-3483-3167  
広報印刷物登録番号 No.1480